

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
皿倉・河内地区

平成24年3月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	観光入込客数	万人/年	55.2	70.0	39.4	確定 見込み ●	×	あり なし ●	33.5	H23年8月	×	- <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	施設整備、イベント開催、温泉施設のリニューアル等を行い、夜間の来訪者数は増加したが、景気の低迷等の影響により、観光入込客数は目標値を達成できなかった。
指標2	宿泊観光客数	万人/年	3.8	5.0	2.8	確定 見込み ●	×	あり なし ●	2.4	H23年8月	×	- <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	山頂の拠点施設等の整備により夜間の来訪者数が増加したが、全国的にも国内宿泊旅行の回数や宿泊数が減少しており、目標は達成できなかった。
指標3	観光消費額	億円/年	29	37.0	21	確定 見込み ●	△	あり なし ●	18	H23年8月	△	- <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	施設整備、イベント開催、温泉施設のリニューアル等を行い、夜間の来訪者が増えており効果はあったが、イベントの開催回数を増やすなど一層の改善策の実施が必要である。
指標4	血倉山頂でのイベント集客数	千人/年	37	44.0	45	確定 見込み ●	○	あり なし	47	H23年6月	○	- <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	スロープカーの設置や山頂の拠点施設、ビジターセンターの整備、夜景観光バスの運行などによる血倉山でのイベント開催環境を整備したことにより、目標値を達成した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	ケーブル乗客数	千人/年	160	188	確定 見込み ●			183	H23年4月		— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	山頂の拠点施設、ビジターセンターの整備等により血倉山の利用環境整備や、イベントやPR、夜間観光バスの運行によりアクセス性が向上したため増加した。	
その他の数値指標2	ビジターセンター入場者数	千人/年	18	28	確定 見込み ●			28	H23年4月		— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	ビジターセンターの整備を行ったことにより施設の利便性が向上したため増加した。	
その他の数値指標3	団体利用者数	人/年	1,494	4,866	確定 見込み ●			5,199	H23年4月		— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	山頂の拠点施設やビジターセンターを整備したことにより、団体の利用における魅力が高まったほか、誰でも安全に利用できるスロープカーが整備されたことで増加した。	
その他の数値指標4	ボランティア活動参加者数	人/年	847	1,515	確定 見込み ●			1,515	H23年6月		— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	ビジターセンターの整備や市民団体主催のイベントなどを通してボランティア活動への関心が向上することにより増加した。	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	○レクリエーション環境の充実	皿倉山の拠点を中心に、レクリエーション活動がより活発化するために、既存施設の充実や維持更新を進めた。	ビジターセンターの一部改修工事を行う事により、レクリエーション環境が向上した。	今後さらに、施設改修及び維持更新を進めることにより、レクリエーション環境の向上を図る。
	○市民主体の地域活動の推進	イベントと一体となったボランティア活動である「さわやか健康清掃登山」をはじめ、「さらくら林間学校」、「森のボランティア体験講座」などのイベントを実施した。	市民が自然と親しむ機会を増やすことができ、子供たちの情操教育や市民の自発性を育むことができた。	小学校などでの野外活動の場としての利用促進を図り、郷土愛を醸成する。
	○地区の自然を生かした取り組み	「皿倉野鳥観察会」や、「皿倉山ファミリーキャンプ」、「植物ウォッチング」などのイベントを実施した。	市民が自然を楽しんでもらう機会を増やすことができた。	今後も、自然を活かしたイベントを継続して実施することで皿倉・河内地区への来訪者の確保に努める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	○皿倉山の自然を楽しむための環境づくり	改善策は、長期的な計画が必要なものであるため、現時点では未実施	—	改善策の実施に向け、検討を始める。
	○交通アクセスの整備促進	改善策は、長期的な計画が必要なものであるため、現時点では未実施	—	改善策の実施に向け、検討を始める。
	○効果的な広報PRの仕組みづくり	改善策は、長期的な計画が必要なものであるため、現時点では未実施	—	改善策の実施に向け、検討を始める。
	○来訪者の周遊や滞在時間の延長を促す仕組みづくり	改善策は、長期的な計画が必要なものであるため、現時点では未実施	—	改善策の実施に向け、検討を始める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし	—	—	—
なし	—	—	—
なし	—	—	—
なし	—	—	—